

八千代市第4次総合計画

前期基本計画

(平成23年度～平成27年度)

ダイジェスト版



目次

発刊にあたって	2
■第4次総合計画の概要	2
●総合計画の構成	
●市のプロフィール	
●基本構想／基本理念	
／将来都市像	
／将来都市像実現のための6つの柱	
／将来人口・土地利用	
●前期基本計画／計画策定の趣旨	
／計画の期間	
／計画基本指標	
■リーディングプロジェクト	4
■部門別計画	6
第1章 健康福祉都市をめざして	
第2章 教育文化都市をめざして	
第3章 環境共生都市をめざして	
第4章 安心安全都市をめざして	
第5章 快適生活都市をめざして	
第6章 産業活力都市をめざして	
■計画の推進のために	12
■ゾーニング計画	13
■地域別計画	14

■第4次総合計画の概要

発刊にあたって

本市は、緑豊かな自然環境と首都近郊という立地条件のもと、昭和42年の市制施行以来、快適さと豊かさをめざして着実に歩み続けてまいりました。これまで市勢の発展にご尽力をいただいた先人・先輩をはじめ、市民の皆さまに感謝申し上げます。



現在、我が国は、急速な少子・高齢化の進行やグローバル化・高度情報化の進展、地球規模での環境問題の顕在化などめまぐるしい変化を見せています。

こうした中、市民生活に最も身近な基礎自治体として、社会経済情勢や価値観の多様化に伴う市民ニーズの変化を的確にとらえつつ、持続可能な行政経営に努めていかなければならないと考えております。

「夢は語るものではなく、実現するもの。」

私はこの言葉を心に刻み、これまで、八千代市の現実と向かい合い、総合的見地に立って、各種事業を展開してまいりました。

平成23年度からスタートする、この八千代市第4次総合計画は、平成32年度までの10年間を展望する長期の計画として、これから「何ができるか」を記したものであり、「誇りと愛着」「共生と自立」「安心と安全」を基本理念に、将来都市像を「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」と定めました。

この将来都市像を実現していくためには、市民の誰もが、主体的にまちづくりに参画し、愛着を持って住み続けたいと思える、アメニティに富んだまちづくりが重要です。

このため、「市民と行政の共生」「コミュニティ活動の促進」「新しい公共の構築」の観点から、市民主体による自立的な行政経営を基本に、一人ひとりの市民が人間として尊重されるまちづくりを進めてまいります。

市民の誰もが住んでよかったと実感できるまちの創造に向け、計画推進に全力を注ぐ所存でございますので、今後とも市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この計画の策定にあたり、市民意識調査や各種フォーラム、パブリックコメントなどを通してまちづくりへの貴重なご意見、ご提言をいただきました多くの市民の皆さまをはじめ、市議会議員並びに総合計画審議会委員の皆さまに対しまして心より御礼申し上げます。

平成23年3月

八千代市長

豊日保 部

このダイジェスト版は、「八千代市第4次総合計画」の概要を紹介するものです。

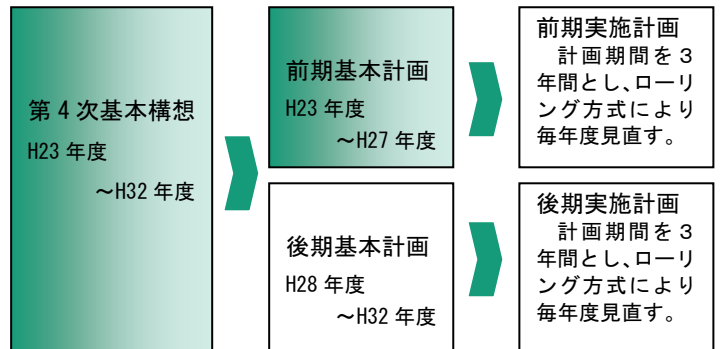
総合計画の構成

総合計画は、計画的なまちづくりの方向性を示すものであり、基本構想、基本計画、実施計画により構成されています。

基本構想は、本市のまちづくりを進めていくうえでの基本理念と将来目標および施策の大綱を示し、総合的な行政運営の指針とするものです。

基本計画は、基本構想を実現するため、まちづくりの基本的な施策を体系的に示す市政の基本的な計画です。

実施計画は、基本計画に定めたまちづくりの基本的な施策を効果的に実施するための具体的な事業施策を明らかにするとともに、財源の裏付けを伴う市政の具体的な計画です。



市のプロフィール

- 市制施行：昭和42年1月1日
- 位置：千葉県北西部に位置し、都心から31km、千葉市中心から13km、成田国際空港から26kmに位置しています。
- 面積：51.27km²(東西8.1km、南北10.2km)
- 気象(平成21年)
年平均気温 15.5℃、年間降水量 1,616.5mm
- 市の特産：梨
- 市の木：ツツジ
- 市の花：バラ
- 人口・世帯数(平成22年3月末現在)
人口 192,570人、世帯数 79,985世帯
- 国際姉妹都市：アメリカ合衆国テキサス州タイラー市
- 国際友好都市：タイ王国バンコク都



市章



シンボルマーク

基本構想/基本理念

●『誇りと愛着』

市民の誰もが心からこのまちを愛し、誇りを持ってこのまちに暮らしたいと願う、そんな魅力あふれるまちづくりを推進します。

●『共生と自立』

市民やコミュニティの自主的活動を促進し、市民と行政が互いにパートナーとして共に支え合うまち、自立するまちづくりを推進します。

●『安心と安全』

市民の誰もが生涯にわたって、いきいきと安心して暮らすことができるまち、快適で安全な生活が送れるまちづくりを推進します。

基本構想/将来都市像

「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市
八千代」

基本構想/将来都市像実現のための6つの柱

1. 健康福祉都市をめざして
2. 教育文化都市をめざして
3. 環境共生都市をめざして
4. 安心安全都市をめざして
5. 快適生活都市をめざして
6. 産業活力都市をめざして

基本構想/将来人口・土地利用

●将来人口

基本構想の目標年度である平成32年（2020）度末の将来人口は、**218,000人**と想定します。

●土地利用の基本方針

都市の主人公である市民を尊重したまちづくりをめざすうえで、人間・自然環境・都市環境との共生が図られるまちづくりの視点が大切です。

このような観点から、第3次基本構想における土地利用の基本方針である、自然の面積と都市の面積をそれぞれ50%にするという原則を引き続き継承し、秩序ある発展と土地の有効利用に努めます。

前期基本計画/計画策定の趣旨

この計画は、第4次基本構想に基づき、将来都市像「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」を実現するための第4次総合計画の前期5か年にわたる施策・手段を体系的に定めたもので、今後の行政経営の指針となるものです。

前期基本計画/計画の期間

この計画は、平成23年度（2011）を初年度として、平成27年度（2015）までの5か年を期間とします。

前期基本計画/計画の基本指標

●人口

総人口

本市の人口は、今後も増加を続け、平成27年度には208,000人になるものと想定されます。

世帯数・世帯人員

核家族化の進行により、世帯数は増加するものの世帯人員は減少することが予測され、平成27年度には91,000世帯（2.29人/世帯）になるものと想定されます。

年齢構成

平成27年度における年齢別人口および構成比は、0歳～14歳の年少人口 30,700人（構成比14.8%）、15歳～64歳の生産年齢人口 129,800人（構成比62.4%）、65歳以上の老年人口 47,500人（構成比22.8%）になるものと想定されます。

●土地利用

本市の土地利用は、市域の南部から中央部にかけての市街化区域と、北部の市街化調整区域に大別されます。

さらに、利用形態では、市街化区域の京成本線沿線を中心とした既成市街地および東葉高速沿線を中心とした新市街地、また、市街化調整区域の自然環境保全地域と大きく3つに区分されます。

今後も、都市的土地利用と自然的土地利用の調和のとれた良好な土地利用に努めます。

●財政

前期基本計画期間（平成23年度～平成27年度）における本市の一般会計の財政規模の見通しは、280,852百万円（計画期間累計）となります。

■ 前期基本計画

リーディングプロジェクト

将来都市像を実現するために、先導的な役割を担う事業をリーディングプロジェクトと位置づけ、重点的かつ戦略的に推進します。

1. 次代を担う子供たちの育成

次代を担う子どもたちが健やかに育つために、家庭・地域・行政が一体となって、必要な環境の整備に努めます。

子どもは社会の宝であり、次代を担う無限の可能性を秘めた、かけがえのない大切な存在として、社会全体で支援することが求められています。

少子化が進行する中、安心して出産、子育てができるとともに、子どもたちが、安心してのびのびと遊び、学ぶことができる環境を整備していくことが重要です。

このため、家庭・地域・行政が一体となって、子どもたちが健やかに育つために必要な環境の整備に努めます。

【主な事業】

- 八千代市第2次健康まちづくりプラン策定事業
- 予防接種事業
- 子ども医療費助成事業
- 公立保育園改修事業
- 放課後子ども教室推進事業
- 学童保育事業
- 児童発達支援センター整備事業
- 学校適正配置検討事業
- 八千代台東小学校校舎改築事業
- 小中学校校舎耐震改修事業
- 小中学校校屋内運動場耐震改修事業
- (仮称)学校給食センター西八千代調理場整備事業
- 子ども読書活動推進事業
- ブックスタート事業
- 八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業
- 総合グラウンド建設事業
- 北部地域生活支援バス運行事業

2. 超高齢社会への対応

高齢者が、住み慣れた地域で、いきいきと安心して暮らすために必要な環境を整えとともに生活を支えるサービスの提供に努めます。

今後急速な高齢者人口の増加により超高齢社会となることが予測されている中で、高齢者がいきいきと暮らせる社会の構築が求められています。

高齢者の知識と経験を活かし地域の担い手として活躍したり、生涯学習の充実による学びなど、生きがいを持って暮らせる環境の整備や、住み慣れた地域で安心して生活を送るための支援が重要です。

このため、高齢者が、生きがいを持って暮らせる環境の整備を行うとともに、安心して地域で生活するために必要な保健・医療・福祉サービスの提供に努めます。

【主な事業】

- 八千代市第2次健康まちづくりプラン策定事業
- 地域密着型施設事業
- 老人ホーム等整備費補助事業
- 生きがい対策事業
- 介護保険事業計画策定事業
- 地域包括支援センター運営事業
- 鉄道駅エレベーター等整備助成事業
- 北部地域生活支援バス運行事業
- コミュニティバス等運行事業

3. 新川を中心とした快適空間の創造

新川を中心とした周辺地区の水と緑の空間を、人と人、人と自然のふれあいの場として一体的に整備します。

新川およびその周辺の水と緑の空間は、四季折々の風情を楽しませてくれるとともに、人々に潤いとやすらぎを与えており、都市化の進展に伴い、ますますシンボリックな存在としての役割が増えています。

この水と緑の貴重な空間を活かした、市域全体のコミュニティエリアとして、一体的に整備を進めることが重要です。

このため、県立八千代広域公園、やちよふれあいの農業の郷、中央図書館・市民ギャラリー等の公共公益施設を集積するなど整備を進めます。

【主な事業】

- 八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業
- 総合グラウンド建設事業
- 市民会館リニューアル整備事業
- 橋梁補修事業
- 辺田前土地区画整理地内近隣・街区公園整備事業
- 県立八千代広域公園建設の整備促進
- やちよふれあいの農業の郷整備事業

4. 地球環境にやさしい暮らしの促進

多くの環境問題が、私たち一人ひとりの日常生活や事業活動に伴う環境への負荷が大きな要因であることから、地球環境にやさしい暮らしを推進します。

今日、地球温暖化問題をはじめ、酸性雨、有害廃棄物の越境移動、海洋汚染や生物多様性の喪失等、地球規模でさまざまな環境問題が深刻化しています。

その原因や解決策は一人ひとりの日常生活や事業活動に直結しており、環境への負荷が少ない循環型社会の構築など、地域に根ざした対策を進めることが重要です。

このため、環境にやさしいライフスタイルへの転換、新エネルギー・省エネルギーの推進など、次の世代に良好な環境や資源を引き継ぐことのできる、地球環境にやさしい暮らしを推進します。

【主な事業】

- 新エネルギー・省エネルギー推進事業
- 谷津・里山保全事業
- リサイクル推進事業
- リサイクルセンター整備事業
- 焼却炉施設基幹的設備改良工事
- 県立八千代広域公園建設の整備促進
- 八千代台北子供の森用地取得事業

5. 安心・安全が目に見えるまちづくりの推進

市民・地域・行政の連携・協力のもと、日常生活を脅かす災害、事故および犯罪を未然に防止するなど、市民が安心して安全に暮らせる地域社会をめざします。

近年、集中豪雨、地震や台風などの自然災害に加え、都市化や情報化の進展および生活様式の多様化を背景に、安全が脅かされる事件や事故が多発しています。

安心して安全に暮らすためには、市民一人ひとりが、安心・安全が目に見えるまちづくりを自らの問題としてとらえ、主体的に関わることが重要です。

このため、市民・地域・行政の連携・協力のもと、日常生活を脅かす災害、事故および犯罪を未然に防止するなど、市民が安心して安全に暮らせる地域社会をめざします。

【主な事業】

- 医療センター整備事業
- 小中学校校舎耐震改修事業
- 自主防災組織創設・育成事業
- 防災行政用無線整備事業
- 地域排水整備事業
- 高野川上流排水整備事業
- 準用河川高野川改修事業
- 勝田川改修事業
- 急傾斜地崩壊対策事業
- 東消防署移転・改築事業
- 防犯灯設置・維持管理支援事業
- 防犯灯設置事業
- 交通安全施設整備事業
- 配水管等改良事業
- 宮内水管橋更新事業
- 緊急用貯水槽整備事業
- 雨水管渠整備事業
- 木造住宅耐震診断等助成事業
- 市営住宅耐震改修事業

6. 共生と自立によるまちづくりの推進

市民と行政が互いにパートナーとして支え合いながら、共生と自立によるまちづくりを推進します。

市民ニーズの多様化・高度化・細分化に伴い、市民や地域コミュニティ、NPO等とのパートナーシップを基本とした、新しい公共によるまちづくりが求められています。

共生と自立によるまちづくりのためには、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地方分権時代にふさわしい持続可能な財政運営が重要です。

このため、市民の自主的なコミュニティ活動を促進するための、新たな市民参画型制度を創設するなど、市民と行政が互いに支え合うまちづくりを推進します。

【主な事業】

- 放課後子ども教室推進事業
- 自主防災組織創設・育成事業
- 北部地域生活支援バス運行事業
- 新たな市民参画制度創設事業
- (仮称)地域コミュニティセンター整備事業
- コミュニティ活動促進事業
- (仮称)自治基本条例制定検討事業

7. 情報社会への対応

地域の情報化と行政の情報化を図るとともに、個人情報の保護と適正な管理を行うなど、市民に信頼される電子自治体の推進に努めます。

テレビのデジタル化やインターネット、携帯電話などICT（情報通信技術）が進展する中、市民サービスの向上のためにICTの利活用によるきめ細かな対応が求められています。

情報社会に対応するためには、積極的な行政情報の提供を図り、市民と行政の情報の共有化を進めることが重要です。

このため、個人情報の保護と適正な管理のもと、地域の情報化と行政の情報化を図り、市民に信頼される電子自治体の推進に努めます。

【主な事業】

- 防災行政用無線整備事業
- 基幹情報システム再構築事業
- 施設予約案内システム運行事業
- 携帯電話用ホームページ運行事業
- 電子申請・届出システム事業
- 住民基本台帳ネットワークの運用管理



■ 前期基本計画/部門別計画

第1章 健康福祉都市をめざして

少子・高齢化が進行し、高齢社会を迎える中で、すべての人の個性が尊重され、共に支え合い、共に生きる、やすらぎに満ちた人にやさしいまちづくりを通じ、地域ぐるみの福祉をより一層充実させていくことが求められています。

そのため、すべての市民が、住み慣れた家庭や地域で安心して生きがいをもって暮らし、互いに尊重しながら人々が共に助け合い、生涯にわたって心身ともに健康で生き生きと過ごせるよう、保健と医療と福祉の連携による、健康福祉都市の創造をめざします。

■ 指標の目標値(平成27年度末)

第1節 保健・医療

1. 保健

区 分	現況値	目標値
自分が健康だと感じている市民の割合	75.1%	80%
定期的に健康診断。健康診査を受けたり、人間ドックを利用する市民の割合	56.3%	70%
かかりつけ医を決めている市民の割合	60.8%	70%
麻しん風しん混合予防接種(第1期・第2期)の率	95%	現状維持

2. 医療

区 分	現況値	目標値
地域医療体制が整っていると感じている市民の割合	53.8%	60%
市内医療機関への搬送率	72.9%	77%

第2節 社会福祉

1. 児童福祉

区 分	現況値	目標値
保育園待機児童数	206人	0人
子どもが心身ともに健やかに発育・発達していると感じている市民の割合	59.6%	70%
地域子育て支援センターの利用人数	57,421人	64,100人
ファミリー・サポート・センター登録者数	950人	1,200人
八千代市が子育てしやすいまちと感じている市民の割合	49.7%	55%

2. ひとり親家庭福祉

区 分	現況値	目標値
日常生活支援事業の利用者数	18人	30人
ひとり親(母子)家庭の就業率	89.8%	92%

3. 障害者(児)福祉

区 分	現況値	目標値	
通園施設通所児童数	知的障害児通園施設	35人	50人
	肢体不自由児通園施設	12人	30人
外来利用児童数	3,261人	3,500人	
障害者相談支援施設数	4か所	6か所	
グループホーム等定員数	30人	72人	
福祉的就労をしている障害者数	116人	146人	
福祉有償運送利用登録会員数	139人	209人	
福祉有償運送登録業者数	4事業所	6事業所	

4. 高齢者福祉

区 分	現況値	目標値
高齢者福祉サービスが充実していると感じる比率	19.5%	50%
シルバー人材センター登録者数	735人	1,000人
老人クラブ登録者数	3,477人	4,200人

5. 低所得者福祉

区 分	現況値	目標値
被保護者のうち働ける能力のある人の就業率	45.52%	58.49%
市営住宅等の管理戸数	123戸	127戸

6. 地域ぐるみ福祉

区 分	現況値	目標値
福祉センター利用者数	110,508人	122,700人
ふれあいプラザ利用者数	170,787人	180,000人
福祉ボランティア登録者数	2,190人	3,000人

7. 墓地・斎場

区 分	現況値	目標値
合葬式墓地の供給数	544体分	1,920体分
四市複合事務組合の火葬炉数	15基	30基

第3節 社会保険

1. 国民健康保険

区 分	現況値	目標値
保険料収納率	86.3%	89.0%
国民健康保険による人間ドック受検者数	440人	500人

2. 介護保険

区 分	現況値	目標値
介護認定者のうちサービス利用者の比率	83.4%	81.3%
保険料の収納率	94.84%	98%

3. 国民年金

指標なし

■ 主な事業

- 八千代市第2次健康まちづくりプラン策定事業
- 予防接種事業
- 母子保健事業
- 医療センター整備事業
- 看護師等確保対策事業
- 子ども医療費助成事業
- 公立保育園改修事業
- 放課後子ども教室推進事業
- 学童保育事業
- 母子生活支援施設・助産施設措置事業
- ひとり親家庭等日常生活支援事業
- 母子(父子)寡婦福祉事業
- 児童発達支援センター整備事業
- 八千代市第3期障害福祉計画策定事業
- 障害者グループホーム等整備費補助事業
- 福祉作業所整備事業
- 地域密着型施設事業
- 老人ホーム等整備費補助事業
- 生きがい対策事業
- 生活保護事業
- 就労者支援事業
- 市営住宅維持管理事業
- 社会福祉協議会運営補助事業
- ふれあいプラザ運営管理事業
- 福祉センター運営管理事業
- 第二斎場建設事業
- 墓地運営管理事業
- 出産育児一時金の支給
- 短期人間ドック助成事業
- 葬祭費の支給
- 介護保険事業計画策定事業
- 介護予防支援事業
- 地域包括支援センター運営事業
- 加入対策の推進
- 保険料収納対策の支援
- 年金相談

■前期基本計画/部門別計画

第2章 教育文化都市をめざして

社会の成熟化、国際化、情報化などを背景に、市民の生活様式や価値観の多様化が一段と進み、市民一人ひとりの個性や能力を發揮できるまちづくりが求められています。

そのため、学校教育においては、一人ひとりを大切にしたきめ細かな指導により、基礎・基本を確実に身に付け、確かな学力を育てるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって、多様な体験活動や道徳教育の充実を図り、健康で豊かな心を育むよう努めます。

また、市民それぞれのライフステージに応じて、いつでも、どこでも、だれでも学習する機会に恵まれた地域社会の実現を図るため、社会教育で行われる多様な学習活動を含めた生涯学習の振興、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、文化・スポーツの振興、多文化共生の推進を図り、教育文化都市の創造をめざします。

■指標の目標値(平成27年度末)

第1節 教育

1. 幼児教育

区 分	現況値	目標値
幼稚園教育内容が充実していると感じている市民の割合	29.4%	40%

2. 義務教育

区 分	現況値	目標値	
公立小中学校の校舎・体育館の耐震化率	27.9%	83.1%	
学校教育内容が充実していると感じている市民の割合	20.1%	39%	
基礎体力指数	小学校	82.5%	84%
	中学校	76.6%	80%

3. 高校・大学教育 指標なし

第2節 生涯教育

1. 生涯学習

区 分	現況値	目標値
まちづくりふれあい講座の開催回数	242回	650回
公民館主催講座数	585講座	690講座
家庭教育学級設置数	13学級	17学級
公民館サークル数	388サークル	395サークル
生涯学習ボランティアバンク登録者数	18人	60人
生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	17.7%	50%
市民一人当たり年間図書貸し出し冊数	6.27冊	8.6冊

第3節 文化

1. 市民文化

区 分	現況値	目標値
市民文化祭参加団体数	33団体	50団体
文化施設利用人数(星裏一版画展示室除)	284,649人	331,500人

2. 文化財

区 分	現況値	目標値
市指定文化財件数	25件	28件
郷土博物館入館者数	14,093人	20,000人
文化伝承館入館者数	17,828人	22,500人
埋蔵文化財発掘調査件数	16件/年	20件/年

第4節 スポーツ・レクリエーション

1. スポーツ・レクリエーション

区 分	現況値	目標値
スポーツ団体加盟人数	17,461人	18,950人
スポーツ指導者数	292人	670人

第5節 青少年健全育成

1. 青少年健全育成

区 分	現況値	目標値
学校外活動支援団体数	12団体	14団体
青少年育成団体数	17団体	18団体

第6節 男女共同参画社会

1. 男女共同参画社会

区 分	現況値	目標値
男女共同参画社会が進んでいると感じている市民の割合	12.5%	15%
各種委員会等における女性の登用率	30%	35%

第7節 多文化共生

1. 多文化共生

区 分	現況値	目標値
日本語講座の開設数	8教室	9教室
交流会などへの参加者数	1,597人	1,677人

■主な事業

- 幼稚園教育総務事業 ● 私立幼稚園教育振興事業 ● 学校適正配置検討事業 ● 八千代台東小学校校舎改築事業 ● 小中学校校舎耐震改修事業 ● 小中学校屋内運動場大規模改修事業(高津小・村上東小・八千代台西中) ● (仮称)学校給食センター西八千代調理場整備事業 ● 大学公開講座促進 ● 子ども読書活動推進事業 ● ブックスタート事業 ● 八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業 ● 市民会館リニューアル整備事業 ● 文化芸術団体育成事業 ● 文化財保護普及事業 ● 郷土博物館運営事業 ● 文化伝承館運営事業 ● 総合グラウンド建設事業 ● 国際少年スポーツ交流事業 ● 各種スポーツ団体運営事業 ● 青少年指導育成事業 ● 青少年交流事業 ● 青少年センター運営事業 ● 男女共同参画に関する情報提供事業 ● 女性、こころの悩み電話相談事業 ● 男女共同参画センター運営事業 ● 国際推進事業 ● 多文化交流センター運営管理事業



■前期基本計画/部門別計画

第3章 環境共生都市をめざして

地球温暖化が深刻な課題として浮き彫りになっており、環境への負荷を軽減する対策が待たなしに求められています。

また、動植物が生息できる豊かな自然を保全することも重要な課題になっています。

そのため、温室効果ガスの削減、新エネルギー・省エネルギーへの取り組み、谷津里山・水辺の保全、動植物の保護、ゴミの減量化や再資源化への取り組みによる資源循環型社会の形成について、市民・事業者・行政の連携による環境共生都市の創造をめざします。

■指標の目標値(平成27年度末)

第1節 環境との共生・保全

1. 生活環境

区 分	現況値	目標値
公共用水域における環境基準達成度	56.3%	100%
大気環境基準の達成度	75%	92%
地質環境基準の超過数	17地区	8地区
公共用水域における調査の充実	23項目	51項目
大気環境調査の充実	6項目	11項目
地質環境調査地点数	2,005地点	2,500地点
合併浄化槽の設置基数	726基	960基
情報提供の媒体数	2媒体	4媒体
残土条例に基づく指導比率	24.1%	16.0%

2. 地球温暖化

区 分	現況値	目標値
市民1人1日当たりのごみに関して排出しているCO ₂ 量	514g	446g
市民1人が1日当たり使用している電気量	13.9kwh	13.2kwh

3. 生物多様性の保全

区 分	現況値	目標値	
自然環境学習等	開催回数	11回/年	12回/年
	参加者数	809名	1,000名
里山の保全地区数	0地区	2地区	
ホタルメイト	登録人数	118名	150名
	団体数	8団体	10団体

4. 環境美化

区 分	現況値	目標値
まちにごみがなくきれいだと感じている市民の割合	53.7%	66%
不法投棄確認件数	164件	100件

第2節 資源循環型社会の形成

1. 一般廃棄物

区 分	現況値	目標値
市民1人1日当たりごみの排出量	821g	775g
リサイクル率	23.7%	30.5%
一般廃棄物処理量	57,693t	59,016t
し尿および浄化槽汚泥の搬入量	28.1kl/日	16.7kl/日

■主な事業

- 環境衛生保全事業 ●水環境対策事業 ●大気環境対策事業
- 地質環境対策事業 ●音・振動環境対策事業 ●新エネルギー・省エネルギー推進事業 ●谷津・里山保全事業
- 生き物調査事業 ●不法投棄等対策事業 ●リサイクル推進事業 ●リサイクルセンター整備事業 ●焼却炉施設基幹的設備改良事業 ●最終処分場活用事業



■前期基本計画/部門別計画

第4章 安心安全都市をめざして

市民が生涯を安心して豊かに暮らせる都市は、安全性や快適性が優先されなければなりません。また、災害や犯罪の発生、交通事故などの社会問題に対する不安感を解消することも求められています。

そのため、災害などから生命と財産が守られ、市民が安心して安全に暮らすことができるよう、防災・消防体制の充実や防犯・交通安全対策など生活環境整備の推進に努めるとともに、市民・地域・NPO・企業・行政の連携による安心安全都市の創造をめざします。

■指標の目標値(平成27年度末)

第1節 市民の安心

1. 相談

区 分	現況値	目標値
専門相談の利用件数	1,154件	1,440件

2. 消費生活

区 分	現況値	目標値
消費生活情報の提供が適切に行われていると感じている市民の割合	31.2%	50%
相談件数に対する適正処理件数の割合	99.8%	100%

第2節 市民の安全

1. 防災

区 分	現況値	目標値
災害時の避難場所を知っている市民の割合	77.3%	80%
自主防災組織数	117組織	149組織
固定系子局数	116局	119局
災害時協力協定締結数	29協定	35協定
急傾斜地崩壊対策整備延長	5,351m	5,570m

2. 消防

区 分	現況値	目標値
火災の出火率(件/人口-万人)	2.6%	2.1%
女性消防団員数	12人	30人
防火水槽数(公設)	416基	441基
応急手当普及率(普通救命講習)	5.9%	7.9%
救急救命士数	23人	30人

3. 防犯

区 分	現況値	目標値
防犯パトロール実施延日数	262日	365日
住んでいる地域に犯罪が多いと感じている市民の割合	35.2%	30.2%
自治会による防犯灯管理数	12,889灯	14,203灯

4. 交通安全

区 分	現況値	目標値
シートベルト着用率	94.4%	100%
自転車駐車場収容可能台数	16,067台	17,000台

■主な事業

- 市民相談事業 ●消費生活情報提供等事業 ●消費団体育成事業 ●消費者教室開催事業 ●自主防災組織創設・育成事業 ●防災行政無線整備事業 ●地域排水整備事業 ●準用河川高野川改修事業 ●勝田川改修事業 ●急傾斜地崩壊対策事業 ●東消防署移転・改築事業 ●消防広域化事業 ●消防救急無線の広域化及び共同化整備事業 ●消防水利整備事業 ●防犯灯設置・維持管理支援事業 ●防犯灯設置事業 ●自主防犯組織支援事業 ●交通安全施設整備事業 ●放置自転車・自動車対策事業 ●交通安全教育・啓発事業



■前期基本計画/部門別計画

第5章 快適生活都市をめざして

快適な生活を営むうえで都市基盤の整備は、欠かせないものです。

そのため、市民がバリアフリーで円滑に移動でき、かつ地球環境に配慮した公共交通機能の充実や道路などの整備、いつでも毎日の生活にあたりまえのこととして使える水道・下水道の整備、都市の再生や将来のまちづくりを見据えた市街地整備、潤いとやすらぎを与えてくれる緑地や公園の整備など、快適生活都市の創造をめざします。

■指標の目標値(平成27年度末)

第1節 総合交通

1. 公共交通

区 分	現況値	目標値
鉄道が利用しやすいと感じている市民の割合	64.8%	69.8%
市内のバスが利用しやすいと感じている市民の割合	43.4%	48.4%
市内・市外間の移動がしやすいと感じている市民の割合	48.1%	53.1%
交通弱者にやさしい交通環境と感じている市民の割合	18.5%	23.5%

2. 道 路

区 分	現況値	目標値
都市計画道路の整備済延長	36,851m	48,122m
市道の改良整備率	70.7%	71.6%

第2節 公園・緑地

1. 公園・緑地

区 分	現況値	目標値
都市公園の面積	922,803m ²	1,040,000m ²
緑豊かなまちと感じている市民の割合	77.4%	82%
アダプト制度実施公園数	47か所	71か所

第3節 水 道

1. 水 道

区 分	現況値	目標値
水道普及率	99%	99.2%
中高層直結(増圧)給水の棟数	709棟	840棟
有効率	95.4%	96%
石綿セメント管の更新率	57.3%	82.9%
基幹管路の耐震化率	36.5%	46.2%

第4節 下水道

1. 下水道

区 分	現況値	目標値
下水道普及率	92.3%	93.4%
水洗化率	98.1%	98.2%
雨水管整備率	37.4%	43.2%

第5節 市街地整備

1. 市街地整備

区 分	現況値	目標値
市街地整備の誘導が適切に図られていると感じている市民の割合	42.1%	55%
土地区画整理事業施行済面積	278ha	424ha

第6節 住 宅

1. 住 宅

区 分	現況値	目標値
木造住宅耐震診断補助制度活用件数	14件/年	30件/年
市営住宅等の入居率	95.1%	100%

■主な事業

- 鉄道駅エレベーター等整備助成事業 ●東葉高速鉄道支援事業 ●北部地域生活支援バス運行事業 ●コミュニティバス等運行事業 ●都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業 ●都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業 ●都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線整備事業 ●都市計画道路8・7・2号西八千代向山線整備事業 ●道路改良事業 ●辺田前土地区画整理地内近隣・街区公園整備事業 ●西八千代北部特定土地区画整理地内近隣公園建設事業 ●勝田台中央公園整備事業 ●県立八千代広域公園建設の整備促進 ●八千代台北子供の森用地取得事業 ●井戸長寿命化事業 ●米本浄水場施設改良事業 ●西八千代配水管及び送水管布設事業 ●給水区域の拡大事業 ●アセットマネジメント(資産管理)事業 ●長寿命化対策事業 ●汚水管渠整備事業 ●西八千代北部地区公共下水道事業(汚水・雨水) ●ポンプ場改良事業 ●雨水管渠整備事業 ●八千代市都市マスタープラン見直し事業 ●西八千代北部特定土地区画整理事業 ●大和駅南地区土地区画整理事業 ●木造住宅耐震診断等助成事業 ●市営住宅耐震改修事業 ●市営住宅維持管理事業



■ 前期基本計画/部門別計画

第6章 産業活力都市をめざして

地域の産業・経済の振興は、そこに働く人ばかりではなく、地域の活力を高め、地域全体の生活の向上につながります。

本市は、今後も自然とのバランスに優れた住宅都市として、成熟度が高まっていくこととなりますが、住宅都市と共存できる農業・商工業の発展をめざしていくことが必要です。

そのため、生産性の高い活力ある都市型農業の確立、集客力のある商業の振興、工業団地を核とした工業の振興、観光資源を活かした観光の振興など、産業活力都市の創造をめざします。

■ 指標の目標値(平成27年度末)

第1節 農業

1. 農業

区 分	現況値	目標値
水田基盤整備済み面積	285ha	307ha
認定農業者数	64人	77人
家族経営協定の締結件数	11件	21件
地場農産物を使って加工品を生産した生産者数	72件	82件
エコファーマー戸数	103件	108件
体験農園利用者数	15,000人	20,000人

第2節 商工業

1. 商工業

区 分	現況値	目標値
協同組合や振興組合等の組織率	20%	40%
経営力強化関係・創業支援セミナー開催回数	55回	60回
1事業所当たりの年間出荷額	1,066百万円	1,078百万円



第3節 観光

1. 観光

区 分	現況値	目標値
ふるさと親子祭が、市民相互の親睦と地域の活性化に役立っていると感じる市民の割合	56.0%	65.0%
観光資源データ数	45件	100件

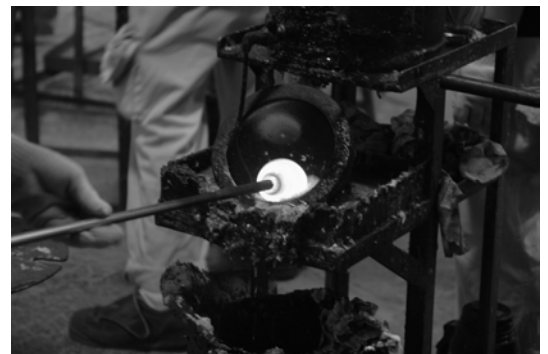
第4節 労働環境

1. 労働環境

区 分	現況値	目標値	
求職相談・就職件数 (八千代地域職業相談室)	求職相談	10,626件	9,200件
	就職件数	660件	680件
中小企業退職金共済等加入事業所割合	6.6%	8%	

■ 主な事業

- 水田再基盤整備事業
- やちよふれあいの農業の郷整備事業
- 生産調整対策事業
- 商業活性化事業
- 工業活性化事業
- 中小企業資金融資事業
- 観光資源の発掘・活用事業
- 八千代ふるさと親子祭への支援事業
- 八千代どんと祭への支援事業
- 緊急雇用創出事業
- 地域職業相談室事業
- 就業支援・促進事業



■ 前期基本計画

計画の推進のために

= 市民主体による自立的な行政経営

市民参画によるまちづくりの推進

■ 指標の目標値(平成27年度末)

(1) 透明性の高い市政の推進

区 分	現況値	目標値
透明性の高い市政運営がなされていると感じている市民の割合	12.9%	50%

(2) 市民参画体制の充実

区 分	現況値	目標値
各種審議会等における公募による市民委員の割合	8.9%	20%
八千代市市民活動団体支援金交付制度(1%支援制度)において団体を選択した市民の数	1,232人	5,000人
市民の意見が市政に反映されていると感じる市民の割合	11.9%	30%
自立した市政運営が行われていると感じている市民の割合	15.4%	50%

■ 主な事業

- 新たな市民参画制度創設事業
- 情報公開事業
- 市長への手紙

地域の視点に立った主体的なまちづくりの推進

■ 指標の目標値(平成27年度末)

(1) コミュニティ活動の推進

区 分	現況値	目標値
自治会活動が活発に行われていると感じる市民の割合	47%	60%
ボランティア・NPO活動などの市民活動に参加している市民の割合	9.7%	45%

(2) 平和と交流によるまちづくりの推進

区 分	現況値	目標値
国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思う市民の割合	32.5%	50%

■ 主な事業

- (仮称) 地域コミュニティセンター整備事業
- コミュニティ活動促進事業
- (仮称) 自治基本条例制定検討事業

持続可能な行政経営の確立

■ 指標の目標値(平成27年度末)

(1) 効率的な行政運営の確立

指標なし

(2) 健全な財政運営の推進

区 分	現況値	目標値
経常収支比率	95.7%	90%
市税収納率	90.3%	92.0%
公債費負担比率	16.3%	15.0%

(3) 市有財産の適切な管理と有効利用の推進

区 分	現況値	目標値
目的を果たした市有財産のうち、未活用財産の件数	12件	7件

(4) 行政サービスの利便性向上の推進

区 分	現況値	目標値
電子申請・届出が可能な手続き	14件	30件

■ 主な事業

- 行政組織の見直し
- 基幹情報システム再構築事業
- 施設予約案内システム運用事業



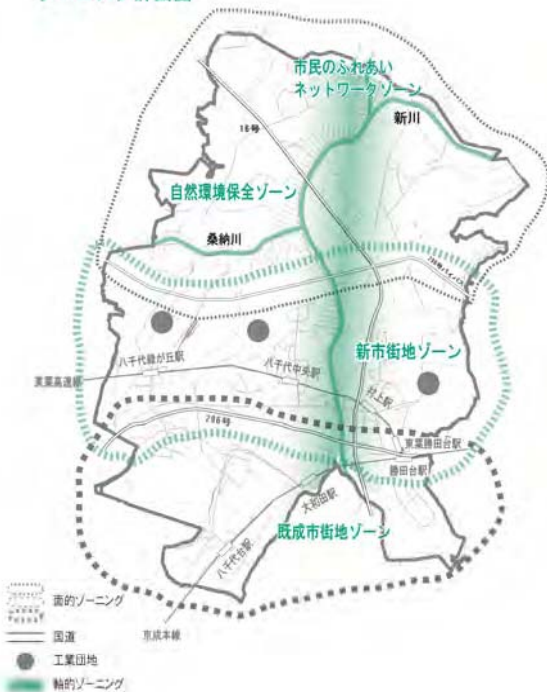
■前期基本計画

ゾーニング計画

本市は、都市的な地域と自然豊かな地域がバランスよく調和したまちとしての特性を有しており、今後も、都市的な地域と自然豊かな地域とのバランスを保ったまちづくりを進めていくことが重要です。

このため、土地利用の基本方針に基づき、市域の南部・中央部・北部を既成市街地ゾーン・新市街地ゾーン・自然環境保全ゾーンの3つの面的ゾーンとして設定するとともに、この3つの面的ゾーンを結ぶ軸となる新川および桑納川周辺を市民のふれあいネットワークゾーンとしてコミュニティの拠点区域とするなど、それぞれのゾーンにおける整備の方向性を明らかにしたゾーニング計画を定め、市域全体として均衡と調和のとれた将来のまちづくりを進めます。

ゾーニング計画図



■面的ゾーニング計画

1. 既成市街地ゾーン

この既成市街地ゾーンは、早くから市街化された地域であり、総合的な居住環境や都市機能などの質的向上を図るなど、リフォームの時期を迎えているゾーンです。

また、市街地では少なくなってきた「緑」の保全に努めるなど、自然環境との調和を保ちながら、生活道路の改良など、安全で快適な生活環境の維持や整備を図り、良好な市街地の形成に努めます。

2. 新市街地ゾーン

新市街地ゾーンは、東葉高速線沿線での開発や土地区画整理事業が進展し、また、開発が計画されている住宅系の地区と、既存の工業団地が立地する工業系の地区、自然が残されている市街化調整区域とが将来にわたって存在するゾーンです。

このため、住・工・緑が隣接しあいながら共存できる街づくりに努めます。

3. 自然環境保全ゾーン

自然環境保全ゾーンは、水田や畑などの農地が、豊かな自然環境をつくり出す役割を果たしているところが大きいといえます。したがって、今後とも農業の振興と農地の保全を図るとともに、自然環境を生かしながら市街地との調和を考慮した土地利用に努めます。

■軸的ゾーニング計画

1. 市民のふれあいネットワークゾーン

都市化が進展する中で、本市のほぼ中央を南北に貫く新川および桑納川周辺の水と緑の空間は、永い歴史の中で育まれてきた豊かな自然を人々に提供しており、この貴重な自然の保全と活用を図り、次代に引き継いでいくことが必要です。

この新川および桑納川周辺は、既成市街地ゾーン・新市街地ゾーン・自然環境保全ゾーンを結ぶ軸としての形態を持つことから、3つの面的ゾーンを結ぶ拠点となる市民のふれあいネットワークゾーンとして位置づけ、地域交流や生涯学習を通じて、人と人、人と自然のふれあいの場として一体的に整備を進めます。

■前期基本計画

地域別計画

地域ごとの個性を活かし、より豊かで潤いのある市民生活を確保していくためには、行政だけではなく、市民自らが地域のあり方やそこでの暮らし方を考え、実践し、地域環境を育んでいくことが重要です。

こうした観点から、市民のより身近な地域における主体的なまちづくりの指針として地域別計画を定め、地域の個性や魅力を活かした地域づくりを推進していくとともに、これを支える地域コミュニティを育み、活性化を図ることにより、市民主体の魅力あふれる地域づくりをめざします。

【地域区分】

八千代市コミュニティ推進計画におけるコミュニティ区域と同様、下図に示す7つを基本とします。



1. 阿蘇地域

恵まれた自然・田園環境の維持・保全に努めていくことを基本に、農業の振興と農地の保全・活用を図るとともに、八千代ふるさとステーションについては、新川対岸の陸地域に整備されるやちよふれあいの農業の郷と一体的に、市民の交流のできる施設として充実させるとともに、観光の拠点、雇用の場として地域の活性化を図ります。

また、集落地における生活利便性の向上や市街地における住環境の維持・保全を図るなど、良好な自然環境と住環境が調和した地域づくりを進めます。



■主な事業

- 小中学校校舎耐震改修事業
- 東消防署移転・改築事業
- 米本浄水場施設改良事業
- 準用河川高野川改修事業
- 北部地域生活支援バス運行事業
- やちよふれあいの農業の郷整備事業

2. 村上地域

勝田台駅北側周辺における安全で快適な交通に対応した道路や駅前広場の整備を推進し、県立八千代広域公園の整備を促進するなど、市民の文化・スポーツ活動の中核となる施設の充実を図ります。

また、村上団地内に新たに設置した八千代市多文化交流センターの活用により、在住外国人との交流を進めます。

そのほか、地域に残る緑地などの自然や歴史的資源を守りながら、自然環境に恵まれた快適な生活空間と安心・安全な地域づくりを進めます。



■主な事業

- 小中学校校舎耐震改修事業
- 小中学校屋内運動場大規模改修事業
- 八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業
- 総合グラウンド建設事業
- 焼却炉施設基幹的設備改良事業
- 最終処分場活用事業
- 準用河川高野川改修事業
- 鉄道駅エレベーター等整備助成事業
- 都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業
- 辺田前土地区画整理地内近隣・街区公園整備事業
- 県立八千代広域公園建設の整備促進
- 宮内水管橋更新事業

3. 陸地域

新川をはじめとする水辺環境やそれに沿った優良な水田地域など、豊かな自然・田園環境を維持・保全していくことを基本に、農業の振興と農地の保全・活用に努めます。

また、やちよふれあいの農業の郷を、新川対岸の八千代ふるさとステーションと一体的施設として整備することで、地域の活性化を図ります。

そのほか、西八千代北部土地区画整理事業の推進と集落部における生活の利便性向上、市街地における住環境の維持・保全を図るほか、地域のコミュニティづくりのための施設の充実に努めます。



■主な事業

- 第二斎場建設事業
- 墓地運営管理事業
- 小中学校校舎耐震改修事業
- 急傾斜地崩壊対策事業
- 西八千代北部特定土地区画整理地内近隣公園建設事業
- 西八千代配水管及び送水管布設事業
- 西八千代北部地区公共下水道事業(汚水・雨水)
- 西八千代北部特定土地区画整理事業
- 北部地域生活支援バス運行事業
- 水田再基盤整備事業
- やちよふれあいの農業の郷整備事業

4. 大和田地域

国道296号の慢性的な交通渋滞の解消や、地域の主要な生活道路について人優先の安全を重視した整備を図るとともに、既成市街地における公共施設の老朽化に対応した施設整備を進めます。

また、文化・スポーツ施設が集積する文化およびレクリエーションの中心的役割を担う地域として、人・自然・文化がふれあう地域づくりを進めます。



■主な事業

- 医療センター整備事業
- 小中学校校舎耐震改修事業
- 市民会館リニューアル整備事業
- 都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業
- 都市計画道路8・7・2号西八千代向山線整備事業
- 県立八千代広域公園建設の整備促進
- 大和田駅南地区土地区画整理事業

5. 高津・緑が丘地域

土地区画整理事業などの活用により、緑豊かで計画的な市街地形成を図るとともに、都市計画道路の整備を促進し国道296号の交通渋滞を解消するなど、交通環境の改善に努めます。

また、商業の振興、地域内に残る緑地などを活かした歩行空間等の形成による自然環境の保全に努め、人が集まり賑わいのある地域づくりを進めます。



■主な事業

- 小中学校校舎耐震改修事業
- 小中学校屋内運動場大規模改修事業
- (仮称)学校給食センター西八千代調理場整備事業
- 消防水利整備事業
- 都市計画道路3・4・1号新木戸上高野原線整備事業
- 都市計画道路8・7・2号西八千代向山線整備事業
- 西八千代北部特定土地区画整理地内近隣公園建設事業
- 西八千代配水管及び送水管布設事業
- 西八千代北部地区公共下水道工事(汚水・雨水)
- 西八千代北部特定土地区画整理事業

6. 八千代台地域

地域の中心となる八千代台駅周辺の商業地において、商店街の活性化を図るとともに、これに隣接する住宅地においては、既存の都市基盤の機能維持に努めます。

また、高齢者にやさしい歩行空間の確保のため、道路のバリアフリー化を促進するとともに、市民の森や子供の森な市街地においての貴重な緑の維持・保全を図るなど、快適な都市空間の創造に向けた地域づくりを進めます。



■主な事業

- 八千代台東小学校校舎改築事業
- 小中学校校舎耐震改修事業
- 小中学校屋内運動場大規模改修事業
- 都市計画道路3・4・6号八千代台花輪線整備事業
- 都市計画道路3・4・12号八千代台南勝田台線整備事業
- 八千代台北子供の森用地取得事業

7. 勝田台地域

計画的に整備された住宅地について、今後とも良好な住環境として維持・保全するとともに、勝田台駅を中心とした商業地域において、商店街の活性化を図ります。

さらに、地域交流促進のための公園整備や市街地の道路整備など、都市機能の充実に努めます。

また、地域南部の田園風景が守られるよう市街化を抑制するなど、ゆとりある住宅と自然環境が調和した地域づくりを進めます。



■主な事業

- 学童保育事業
- 小中学校校舎耐震改修事業
- 勝田川改修事業
- 交通安全施設整備事業
- 勝田台中央公園整備事業

八千代市第4次総合計画
前期基本計画ダイジェスト版

発行日／平成23年3月

発行／八千代市

編集／総務企画部総合企画課

〒276-8501

千葉県八千代市大和田新田312-5

電話 047-483-1151(代表)

FAX 047-484-8824(代表)

URL <http://www.city.yachiyo.chiba.jp>

E-mail seisaku1@city.yachiyo.chiba.jp
